

2023年6月15日 全8頁

Indicators Update

2023年5月貿易統計

輸出増が一服も、季節調整値で見た貿易赤字は2カ月連続で縮小

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2023年5月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+0.6%と27カ月連続で増加した。他方、季節調整値では前月比▲3.1%と持ち直しが一服した。輸入金額は前年比▲9.9%（季節調整値では前月比▲5.6%）と2カ月連続で減少した。資源価格の下落が円安の影響を上回り、エネルギー品目が輸入金額全体を押し下げた。貿易収支は▲1兆3,725億円と22カ月連続の赤字となったが、季節調整値では▲7,778億円と赤字幅が縮小し、16カ月ぶりに1兆円を下回った。
- 5月の輸出数量は前月比▲2.0%と2カ月ぶりに減少した。引き続き自動車輸出は好調だったが、米国向けを中心に半導体等製造装置が低調であった。地域別に見ると、米国向け（同▲6.0%）が減少に転じた一方、EU向け（同+1.5%）やアジア向け（同+2.8%）は増加した。
- 先行きの輸出数量は緩やかな増加基調をたどるとみている。輸出数量指数に2カ月ほど先行するOECD景気先行指数（G20ベース）は足元で底入れの兆しが見られる。半導体不足の緩和による自動車のペントアップ（繰越）需要の発現なども見込まれる。他方、米欧での金融引き締めの影響や、中国での財消費の回復の遅れといったリスクには注意が必要だ。

【貿易金額】資源価格の下落を主因に貿易赤字（季節調整値）の縮小が継続

2023年5月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+0.6%と、コンセンサス（同▲1.2%、Bloomberg調査）に反して27カ月連続で増加した（図表1）。自動車輸出の持ち直しが想定よりも早く進んでいるとみられる。輸出金額全体を季節調整値で見ると、前月比▲3.1%と2カ月ぶりに減少した（図表2左）。4月は好調な結果であったが、5月はその反動もあって持ち直しが一服した。

輸入金額は前年比▲9.9%と2カ月連続で減少した。品目別では、原油及び粗油や石炭、液化天然ガスなどの輸入金額がいずれも同▲20%以上減少した。資源価格の下落が円安の影響を上回っており、エネルギー品目の輸入金額の減少が続いている。輸入金額全体の季節調整値は前月比▲5.6%と2カ月ぶりに大きく減少した。内訳を見ると、輸入数量（大和総研による季節調整値、以下同）は一進一退の動きが続く一方、輸入価格の下落が継続し輸入金額を押し下げた（図表2右）。

貿易収支は▲1兆3,725億円と22カ月連続の赤字となった。もともと、季節調整値では▲7,778億円と赤字幅が2カ月連続で縮小しており、16カ月ぶりに1兆円を下回った（図表3）。輸出金額の持ち直しは一服したが、資源価格の下落を主因に輸入金額が大幅に減少したことが背景にある。

図表1：貿易統計の概況

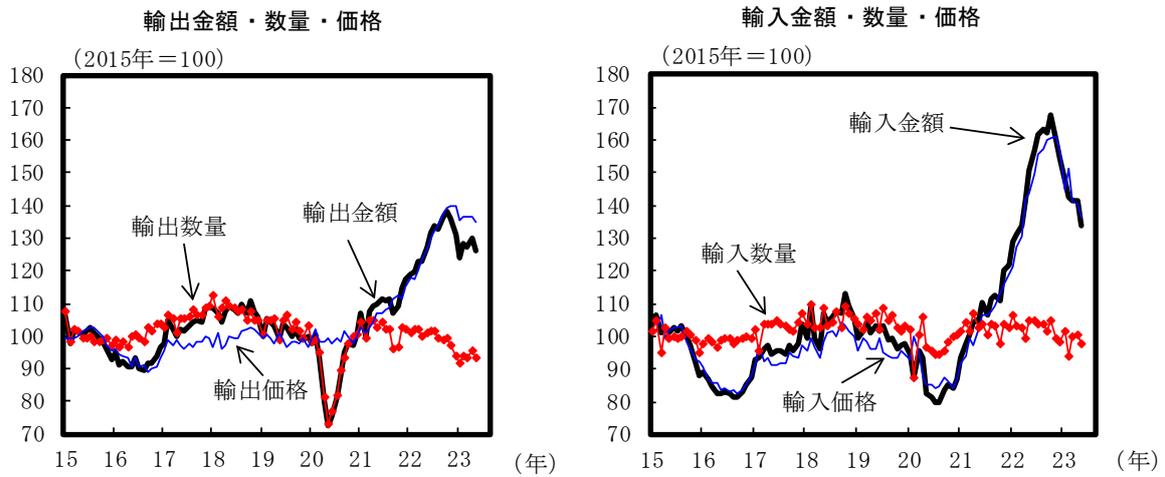
		2022年		2023年					5月	
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月
原系列 前年比 %	輸出金額	28.9	25.3	20.0	11.5	3.5	6.5	4.3	2.6	0.6
	コンセンサス									▲1.2
	DIRエコノミスト予想									▲0.3
	輸入金額	45.8	53.6	30.3	20.8	17.6	8.5	7.4	▲2.3	▲9.9
	輸出数量	3.8	▲0.3	▲3.6	▲7.0	▲10.9	▲7.8	▲8.1	▲6.0	▲6.4
	価格	24.2	25.7	24.4	19.9	16.1	15.5	13.6	9.2	7.5
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	▲1.6	5.7	▲4.7	▲6.4	▲2.3	▲7.9	▲2.6	▲0.3	▲5.2
	価格	48.2	45.4	36.7	29.0	20.4	17.8	10.2	▲2.0	▲5.0
	貿易収支(億円)	▲20,992	▲21,715	▲20,319	▲14,586	▲35,064	▲9,199	▲7,588	▲4,323	▲13,725
	輸出金額	2.7	1.1	▲1.4	▲3.6	▲5.7	3.6	▲0.8	2.3	▲3.1
	数量	▲0.1	0.1	▲1.8	▲3.5	▲2.7	2.6	▲0.7	2.3	▲2.0
	価格	2.8	1.0	0.5	▲0.1	▲3.1	1.0	▲0.0	0.0	▲1.2
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	▲0.5	3.3	▲4.8	▲3.4	▲4.7	▲3.2	▲0.6	▲0.1	▲5.6
	数量	▲2.2	3.2	▲5.2	▲0.8	3.2	▲7.4	6.3	0.6	▲2.9
	価格	1.7	0.2	0.4	▲2.6	▲7.7	4.5	▲6.4	▲0.7	▲2.7
	貿易収支(億円)	▲20,062	▲22,624	▲18,584	▲18,170	▲18,134	▲12,190	▲12,295	▲10,355	▲7,778
	税関長公示レート	139.81	145.09	146.43	137.90	132.08	130.38	134.97	132.23	135.31

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

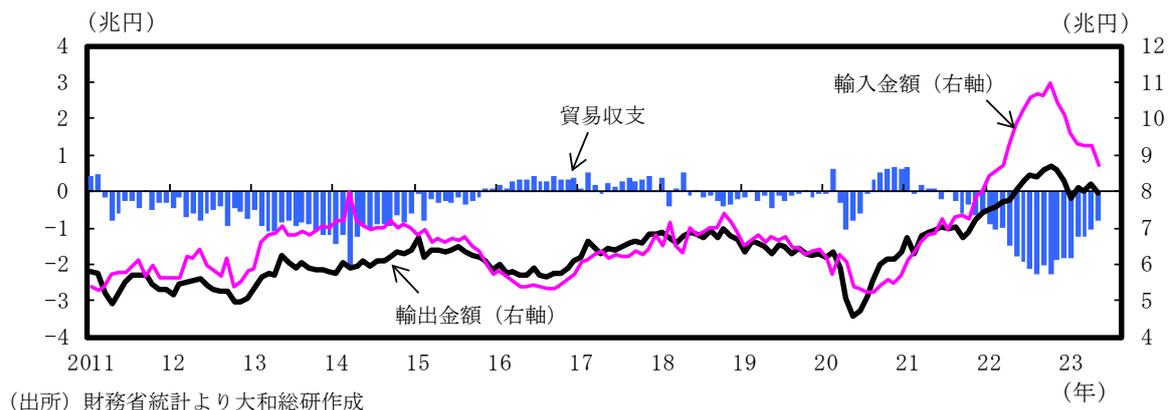
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】自動車輸出の回復の一方で半導体等製造装置が重しに

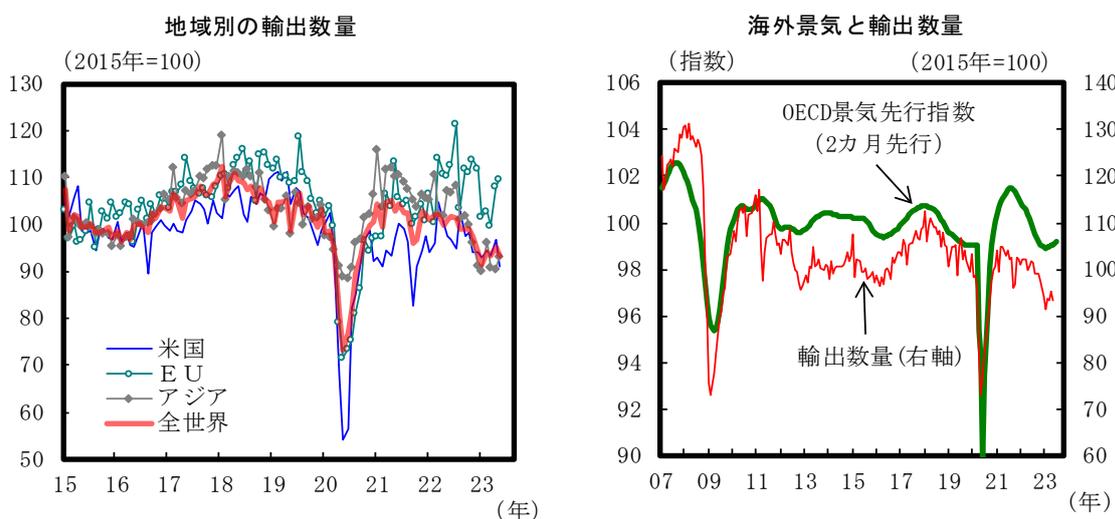
5月の輸出数量は前月比▲2.0%と2カ月ぶりに減少した。引き続き自動車輸出は好調だったが、半導体等製造装置などが全体を下押しした。地域別に見ると、米国向け（同▲6.0%）が減少に転じた一方、EU向け（同+1.5%）やアジア向け（同+2.8%）は増加した。

米国向けは2カ月ぶりに減少した。2月以降高水準にあった半導体等製造装置の輸出が1月並みに戻り、全体を下押しした。米国政府はCHIPSプラス法によって半導体製造施設の拡充などを支援する予定だが、これに備えた半導体製造装置の購入の動きが一服した可能性がある¹。他方、自動車は前月に減少していた反動もあって大きく増加した。米国向け自動車輸出は均して見れば回復基調が継続している。

EU向けは2カ月連続で増加した。半導体産業の調整局面が続く中で半導体等製造装置の輸出が減少したが、中間財の増加がこれを補った。とりわけ全体を押し上げたのは鉄鋼や自動車の部分品である。鉄鋼輸出は、ロシアへの経済制裁を背景に日本からの代替調達が発生しているとみられ、振れを伴いながらも高水準で推移している。自動車の部分品は、供給制約の緩和が続く中で在庫積み増しの動きが表れた可能性がある。

アジア向けは3カ月ぶりに増加した。半導体等製造装置や自動車、同部分品などが全体を押し上げた。他方、中国向け（前月比▲1.2%）は依然として低調だ。自動車輸出は堅調に推移しているが、半導体や半導体等製造装置が伸び悩んでいる。半導体等製造装置については、2023年7月に始まる日本の輸出規制を警戒して現地での設備投資意欲が減退している可能性がある。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



¹ 米国の半導体産業協会 (SIA) によれば、2020年5月から2023年5月までに民間企業が米国内で2,000億ドル以上の半導体製造関連投資を計画していた (<https://www.semiconductors.org/the-chips-act-has-already-sparked-200-billion-in-private-investments-for-u-s-semiconductor-production/> (2023年6月15日閲覧))。

【見通し】引き続き挽回生産に期待も FOMC 等の動向には注意

先行きの輸出数量は緩やかな増加基調をたどるとみている。輸出数量指数に 2 カ月ほど先行する OECD 景気先行指数（G20 ベース、**前掲図表 4 右**）は足元で底入れの兆しが見られる。半導体不足の緩和など供給サイドにも明るい材料が見込まれ、とりわけペントアップ（繰越）需要が蓄積している自動車が輸出数量を押し上げるだろう。他方、米欧での追加利上げや中国での財消費の回復の遅れといったリスクには注意が必要だ。

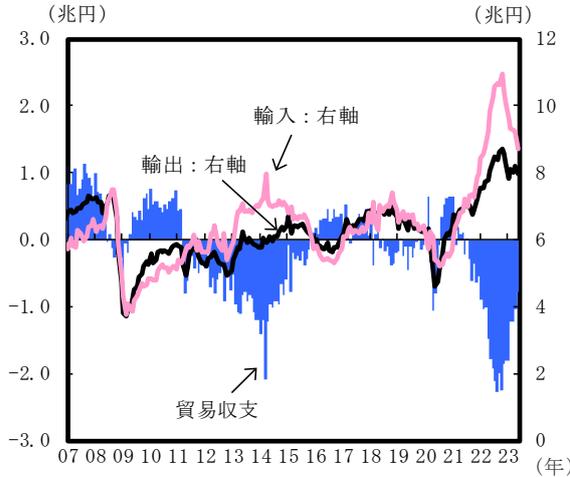
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは底堅く推移するとみている。米国の 1-3 月期の実質個人消費は前期比年率+3.8%と前期（同+1.0%）から加速したほか、4 月の小売売上高も前月比+0.4%と堅調さを維持した。他方で 6 月 FOMC 後のパウエル FRB 議長の記者会見では、年内に残り 2 回の追加利上げが示唆され、FF 金利の上限は従来の市場参加者の予想を上回る 5.75%まで引き上げられる可能性が高まった。名目金利の上昇とインフレ率の下落で実質金利が上昇する中、米国での設備投資の減速を通じて日本からの資本財などの輸出は下振れするだろう。

欧州向けは均して見れば横ばいで推移するとみている。ユーロ圏では 1-3 月期実質 GDP（2 次速報値）が前期比▲0.1%となり、テクニカルリセッション（2 四半期連続のマイナス成長）に陥った。内訳を見ると内需が低調であり、日本からの輸出環境は良くないとみられる。他方で、ペントアップ需要が蓄積しているとみられる自動車は例外的に輸出の増加が見込まれるほか、鉄鋼も高水準にあることから、輸出を下支えするとみている。

中国向けは非常に緩やかな回復にとどまるとみている。中国では個人消費が牽引する形で景気回復が進んでいるが、その中心はサービス消費であり、日本からの財輸出の回復は鈍いままである。足元では主力の自動車輸出の持ち直しが全体を押し上げているが、輸出金額が最も大きい半導体等製造装置については、日本の輸出規制の影響もあって先行き不透明感が強い。

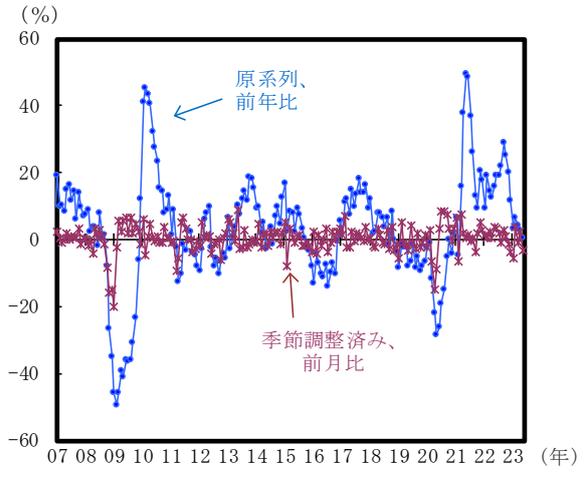
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

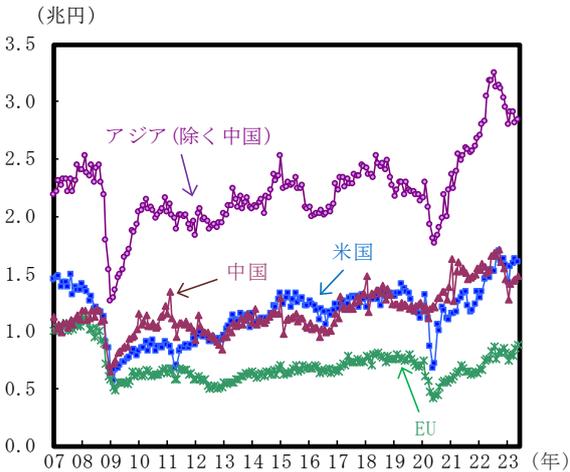


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

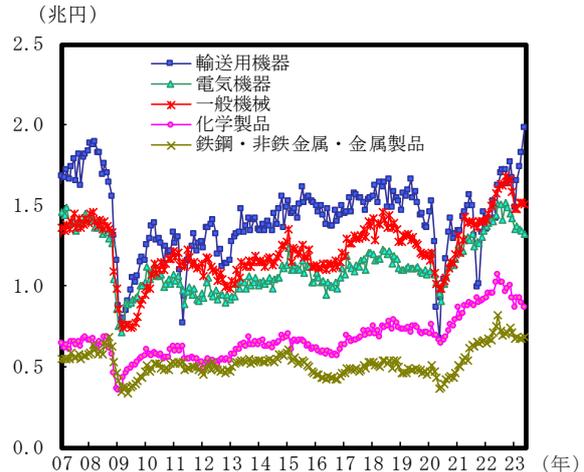


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

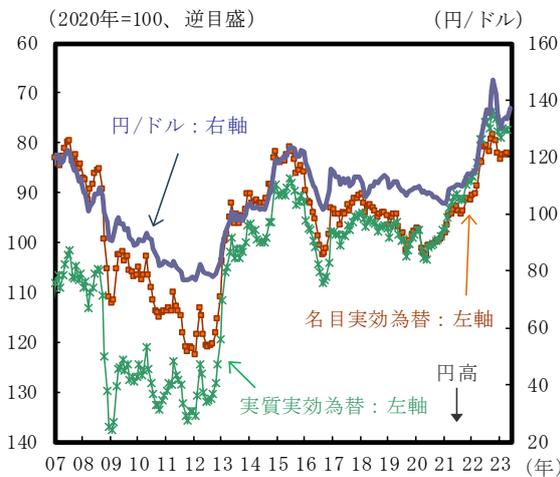


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

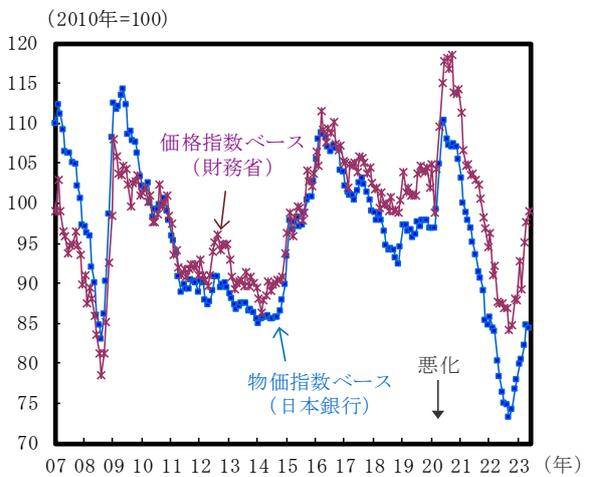


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	11.5	3.5	6.5	4.3	2.6	0.6	100.0	0.6
食料品	7.3	▲5.5	18.5	13.1	7.1	6.6	1.3	0.1
原料品	▲0.8	11.4	1.7	▲0.8	▲11.0	▲16.0	1.8	▲0.3
鉱物性燃料	67.6	17.7	16.9	13.1	▲25.7	▲47.6	1.4	▲1.3
化学製品	1.2	▲6.6	▲2.1	▲3.2	▲6.3	▲15.0	11.0	▲2.0
原料別製品	8.3	4.6	3.0	1.1	▲4.3	▲7.5	13.0	▲1.1
鉄鋼	3.7	5.5	3.0	▲0.7	▲3.0	▲10.2	5.6	▲0.6
非鉄金属	15.9	0.4	4.5	10.9	▲9.0	▲8.4	2.6	▲0.2
金属製品	3.2	3.1	▲4.0	▲7.7	▲7.0	▲6.0	1.3	▲0.1
一般機械	13.2	4.5	1.4	1.7	▲0.1	▲3.7	18.4	▲0.7
電気機器	6.2	▲1.5	▲1.7	▲4.5	▲4.3	▲8.0	16.1	▲1.4
半導体等電子部品	0.4	0.4	0.5	3.2	▲6.5	▲12.1	5.3	▲0.7
I C	2.0	5.3	5.1	10.3	▲2.5	▲10.4	3.8	▲0.4
映像機器	93.4	▲23.4	▲14.8	▲17.8	▲12.4			
映像記録・再生機器	23.2	▲8.9	2.0	4.4	12.6	18.7	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	2.6	▲0.5	4.3	▲15.9	▲4.8	▲13.9	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	7.4	▲2.1	▲2.9	▲8.4	▲7.2	▲9.5	2.0	▲0.2
輸送用機器	14.5	9.2	16.1	23.0	19.8	38.9	21.4	6.0
自動車	17.9	14.9	23.5	38.3	29.2	66.3	15.8	6.4
自動車の部分品	3.3	▲13.7	▲11.0	▲13.6	▲7.4	▲1.7	3.8	▲0.1
その他	20.6	6.8	20.0	2.5	10.3	8.5	15.7	1.2
科学光学機器	0.6	▲2.2	6.8	7.4	12.7	8.3	2.6	0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	16.9	10.4	14.9	9.4	10.5	9.4	100.0	9.4
食料品	▲9.0	2.4	6.9	▲16.4	▲7.3	▲11.3	1.0	▲0.1
原料品	▲13.6	▲29.5	9.4	▲26.6	▲41.6	▲64.8	0.5	▲1.0
鉱物性燃料	▲58.5	▲26.0	▲5.6	112.3	▲50.2	▲74.0	0.7	▲2.1
化学製品	13.4	▲2.2	15.2	4.5	4.1	▲22.6	7.1	▲2.3
原料別製品	26.7	37.8	24.1	6.5	0.8	▲6.3	7.2	▲0.5
鉄鋼	34.5	57.3	51.6	23.2	8.9	11.4	1.8	0.2
非鉄金属	73.1	60.0	37.5	43.7	17.5	▲29.9	0.9	▲0.4
金属製品	5.1	26.2	1.2	▲22.0	▲7.0	▲11.9	1.3	▲0.2
一般機械	23.9	14.0	11.8	0.9	8.3	▲3.2	24.3	▲0.9
電気機器	12.4	16.1	6.1	▲5.6	10.9	2.6	13.3	0.4
半導体等電子部品	7.9	5.9	▲11.5	2.0	3.9	▲8.2	1.4	▲0.1
I C	4.3	8.7	▲19.0	4.9	33.5	▲2.9	0.7	▲0.0
映像機器	16.1	▲14.7	▲2.4	▲8.7	▲6.9			
映像記録・再生機器	7.2	▲20.3	▲19.0	▲17.8	▲5.3	3.7	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	▲12.3	13.1	24.6	▲4.3	46.3	27.9	0.2	0.0
電気回路等の機器	12.8	12.2	17.9	4.0	6.7	▲1.0	1.4	▲0.0
輸送用機器	15.5	1.5	14.1	37.2	17.7	61.4	33.5	13.9
自動車	16.2	▲1.7	13.7	59.9	23.1	81.9	26.2	12.9
自動車の部分品	2.2	5.7	4.7	▲24.5	▲0.3	▲1.4	5.1	▲0.1
その他	12.0	21.2	33.4	▲5.3	16.2	17.1	12.5	2.0
科学光学機器	24.5	19.6	31.0	20.5	6.7	9.2	2.7	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	27.0	9.5	18.6	5.1	11.8	16.6	100.0	16.6
食料品	▲5.0	▲11.6	54.2	▲13.6	15.1	6.4	0.5	0.0
原料品	33.1	7.2	4.8	▲19.3	1.4	2.7	0.9	0.0
鉱物性燃料	728.0	▲63.1	▲16.2	▲85.3	▲89.8	16.6	0.6	0.1
化学製品	16.6	3.3	11.0	▲10.2	▲12.6	▲10.2	10.3	▲1.4
原料別製品	56.4	22.9	17.9	10.2	3.2	7.4	10.1	0.8
鉄鋼	134.0	29.7	23.3	39.3	▲19.2	3.6	4.5	0.2
非鉄金属	79.4	81.1	77.3	30.0	55.9	44.6	1.2	0.4
金属製品	20.5	14.6	5.8	▲2.1	0.1	10.9	1.3	0.2
一般機械	33.1	17.9	11.1	▲4.2	▲3.5	3.9	22.2	1.0
電気機器	24.5	1.8	6.4	▲1.5	9.6	▲1.3	14.9	▲0.2
半導体等電子部品	14.0	▲0.3	4.8	8.5	13.8	▲1.8	2.0	▲0.0
I C	13.1	▲2.3	▲9.4	▲3.8	6.4	▲14.1	0.8	▲0.2
映像機器	67.5	8.0	9.8	11.4	▲10.0			
映像記録・再生機器	49.8	▲1.1	10.7	12.0	4.4	10.1	0.7	0.1
音響・映像機器の部分品	44.2	▲40.1	▲28.6	▲32.0	▲24.0	▲45.7	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	32.0	11.8	12.3	7.0	14.1	6.7	1.6	0.1
輸送用機器	21.8	26.6	59.2	27.0	58.5	76.1	25.6	12.9
自動車	16.1	51.2	122.0	79.3	94.8	141.4	17.9	12.2
自動車の部分品	0.9	▲37.0	▲22.5	▲24.4	▲10.6	1.5	4.5	0.1
その他	11.3	▲11.1	5.5	13.8	12.2	23.8	14.9	3.3
科学光学機器	29.3	11.9	12.2	8.0	20.5	4.6	4.0	0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.1	▲4.0	▲1.3	▲1.1	▲6.3	▲8.1	100.0	▲8.1
食料品	11.6	▲8.7	20.4	24.5	9.9	11.1	1.7	0.2
原料品	▲2.0	15.9	▲0.0	2.3	▲9.3	▲10.7	2.8	▲0.3
鉱物性燃料	53.8	35.1	▲6.4	▲7.0	▲37.9	▲26.5	1.9	▲0.6
化学製品	▲1.6	▲10.8	▲7.2	▲4.5	▲6.7	▲13.6	14.7	▲2.1
原料別製品	1.2	▲4.3	▲3.4	▲2.7	▲11.6	▲15.0	15.6	▲2.5
鉄鋼	▲4.0	0.4	▲6.3	▲8.8	▲9.3	▲21.4	6.5	▲1.6
非鉄金属	7.9	▲11.3	1.0	11.9	▲17.9	▲9.8	4.2	▲0.4
金属製品	▲3.6	▲11.5	▲10.7	▲10.4	▲15.1	▲13.3	1.4	▲0.2
一般機械	3.9	▲3.2	▲4.3	3.2	▲4.0	▲5.4	17.1	▲0.9
電気機器	1.2	▲6.8	▲5.4	▲6.1	▲11.3	▲12.8	20.2	▲2.7
半導体等電子部品	▲0.6	▲0.2	1.0	2.8	▲8.3	▲13.1	8.8	▲1.2
I C	1.5	5.4	6.3	10.8	▲3.9	▲10.7	6.6	▲0.7
映像機器	186.3	▲34.6	▲27.7	▲29.5	▲17.0			
映像記録・再生機器	18.7	▲12.7	15.7	15.2	32.9	33.4	0.3	0.1
音響・映像機器の部分品	▲5.8	▲10.3	▲1.2	▲18.1	▲16.9	▲19.4	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	3.4	▲7.1	▲7.4	▲11.2	▲12.9	▲14.1	2.8	▲0.4
輸送用機器	▲11.9	▲10.8	▲1.0	▲5.0	▲8.0	14.3	7.9	0.9
自動車	▲22.2	▲7.0	2.0	▲7.4	▲0.2	39.1	4.5	1.2
自動車の部分品	▲2.5	▲19.3	▲21.2	▲8.6	▲18.2	▲9.6	2.6	▲0.3
その他	21.3	0.9	14.8	5.5	6.1	0.2	18.0	0.0
科学光学機器	▲11.9	▲13.9	▲2.5	2.8	12.3	9.0	2.8	0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.2	▲17.1	▲10.9	▲7.7	▲2.9	▲3.4	100.0	▲3.4
食料品	21.8	3.4	33.9	21.3	7.6	21.6	1.8	0.3
原料品	17.6	1.8	0.4	13.4	9.8	0.6	3.0	0.0
鉱物性燃料	103.7	138.2	285.0	44.3	▲25.8	17.8	0.7	0.1
化学製品	0.4	▲11.0	▲8.6	▲1.8	▲1.6	▲5.7	18.5	▲1.1
原料別製品	▲6.3	▲17.5	▲16.2	▲10.2	▲18.2	▲18.9	12.1	▲2.7
鉄鋼	▲11.7	▲12.3	▲28.9	▲37.8	▲27.2	▲26.5	3.2	▲1.1
非鉄金属	▲5.7	▲25.3	▲8.2	24.4	▲18.9	▲22.5	3.8	▲1.1
金属製品	▲14.0	▲25.0	▲16.8	▲17.8	▲13.5	▲13.7	1.6	▲0.2
一般機械	▲7.7	▲16.2	▲11.8	2.0	9.4	▲3.0	21.3	▲0.6
電気機器	▲2.4	▲16.0	▲12.1	▲11.3	▲10.8	▲3.2	21.7	▲0.7
半導体等電子部品	3.9	▲2.5	1.6	14.9	2.5	14.3	8.1	1.0
I C	10.9	7.9	9.5	33.3	12.5	28.4	6.2	1.3
映像機器	237.3	▲41.0	▲38.4	▲46.9	▲23.9			
映像記録・再生機器	8.5	▲33.6	20.1	15.5	70.3	36.2	0.5	0.1
音響・映像機器の部分品	▲19.1	▲34.1	▲23.1	▲37.9	▲39.5	▲36.7	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲5.5	▲15.1	▲15.9	▲20.1	▲18.6	▲11.7	3.0	▲0.4
輸送用機器	▲45.7	▲56.4	▲43.5	▲48.4	▲28.9	10.3	7.8	0.7
自動車	▲50.2	▲52.1	▲34.2	▲62.7	▲27.3	50.5	4.9	1.6
自動車の部分品	▲38.1	▲64.5	▲58.1	▲31.2	▲34.5	▲28.1	2.6	▲1.0
その他	3.0	▲8.6	7.8	▲6.2	26.2	4.9	13.2	0.6
科学光学機器	▲16.8	▲19.0	▲3.0	▲2.3	9.3	▲1.2	3.2	▲0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成